

河川砂防技術基準 調査編改定

第23章 調査結果の保存・活用
の改定について

令和6年6月

【改定対象】

調査編 第23章 調査結果の保存・活用

○ 調査結果について、適切な保存・蓄積・電子化によるデータベース化等について記載した章

【改定概要】

5分類	H24年新設時に実施済み
技術基準/ 技術資料	<p>章タイトルの変更(調査結果の保存・活用→調査結果等の保存)</p> <p>構成の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 現行1.9 地理空間情報の活用 :改定後1.5 共通仕様へ ➤ 現行1.5 情報管理体制、現行1.7 調査結果の活用、現行1.8 データベースの活用例：施設配置等計画編第5章へ <p>以下の項目に＜標準＞を新たに設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 1.1 基本的考え方、1.2 調査結果等の保存、1.3 調査結果等の品質確保、1.4 電子データのバックアップ
施策の反映	<p>データの保存・活用に関する動向の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 行政が保有する様々なデータのオープン化や、行政サービスと民間サービスの連携を推進(H28官民データ活用基本法、R3デジタル社会形成基本法)
技術的知見の反映	<p>データやサービスの連携による新たなイノベーションを創出に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 利用目的に沿ったデータ品質特性 ➤ 機械判読に適したデータ構造・形式 ➤ 地理空間情報 ➤ 3次元化

目的等

- 調査により得られた成果は、河川等の計画、設計及び維持管理等のための基本的情報であり、適正な精度を有した調査結果(以下、「調査結果等」)が、適切に保存・管理され、有効に活用されることが重要であるとして、調査結果等を保存し、有効に活用するための基本的考え方を示すことを目的として、H24年改定時に新設。
- H24新設時には、データベースや地理空間情報を活用する手段として、水・物質循環解析ソフトウェア共通プラットフォーム(CommonMP)や CommonMP-GIS が整備されており、これらプラットフォームを利用した調査結果の適切な活用を企図。

目次構成(ポイント)

第1節 総説

1.1 目的

- 適正な精度を有した調査結果等が、適切に保存・管理され、有効に活用されることが重要

1.2 調査結果の保存

- 調査結果等は、使用目的に応じて適切な方法で保存・蓄積するとともに、電子データとして保存することが重要。

1.7 調査結果の活用

- データベースを整備し、効率的に活用する。他機関が整備したデータベースについても、できるだけ有効に活用する。

1.8 データベースの活用例

- データ整理、水理計算の実施、GISを活用した結果の表示等、CommonMP を利用して、調査結果等を有効に活用することが望ましい。

1.9 地理空間情報の活用

- データは位置情報と関連付けた地理空間情報として保存、活用できるようにする。

オープンデータ化

- 官民データ活用推進基本法制定(2016年)
- デジタル社会形成基本法制定(2021年)

○オープンデータ基本指針(2021年6月)

- ・ 公共データは国民共有の財産であるとの認識に立つこと
- ・ 各府省庁が保有するデータはすべてオープンデータとして公開することを原則とする

データ品質

○データ品質管理ガイドブック(2022年3月)

- ・ データは二次、三次と加工されて活用される
- ・ 元のデータの品質に問題があると、それを加工したデータの品質にも影響
- ・ 結果としてデータを利用したサービス自体の品質も低下

○データ連携基盤を通して提供されるデータの品質管理ガイドブック(2023年9月)

- ・ 利用目的によって、必要となるデータの特性も異なるため、データの品質評価は目的ごとに変化

バックアップ

○国土交通省デジタル・ガバメント中長期計画(2020年3月)

- ・ データのバックアップやバックアップセンターの活用など、非常時においても業務を継続するために必要な方策を適切に講じる

データの標準化

○二次利用の促進のための府省のデータ公開に関する基本的考え方

- ・ 人間が読む、印刷することを念頭に置いた従来のデータ形式のほか、**機械判読に適したデータ形式でも公開**することに努める

三次元データ・地理空間情報

○3次元モデル成果物作成要領(案)(2022年3月)

- ・ 詳細設計における3次元モデル成果物の作成方法及び要件を規定
- ・ **3次元モデルを活用**して効率的に業務を遂行

○地理空間情報の二次利用促進に関するガイドライン(2010年9月)

- ・ 行政機関等における地理情報の二次利用の概念を明確にする
- ・ 適正な権利処理のもと地理空間情報の提供・流通を行う際の指針を示す
- ・ 行政機関等が保有する**地理空間情報の提供**により、国民が**地理空間情報を活用した多様な公益的サービスを享受**することが可能

CommonMPプロジェクトの終了

○CommonMPプロジェクトは、日本における水文水理解析の共通基盤の構築や技術普及を目的に2010年のVer1.0公表以降、産学官連携により推進され、先駆的な取り組みが行われてきた。

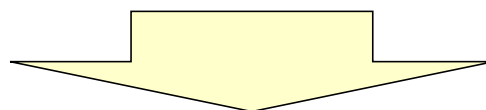
○一方で、近年の水文水理解析の急速な技術革新への即応が困難となっており、CommonMPの開発環境「.NET Framework 4.5」が2022年にサポート終了するなどプログラムの維持更新も困難な状況。

○CommonMPプロジェクトについては、その目指した理念は様々な形で実現していることから、産学官の協議を経て2022年度に終了する。

第23章 調査結果の保存・活用 今回の改定主旨

- 今回改定では、調査結果の保存・活用に関して以下の事項について記載内容の見直し。
 - 調査結果等の活用・公開に向けた保存について記載。
 - 情報通信技術の社会的変化に伴い、調査結果とその活用方法が高度化しており、今後も更なる進展が想定されることから、詳細な技術については定めず、**河川砂防技術基準全編に共通する調査結果等の保存の基本的考え方を示す。**

	記載概要	記載背景
H26年改定	○ 調査結果について、適切な保存・蓄積・電子化によるデータベース化、地理空間情報の活用、CommonMPの活用によるデータ整理・解析・調査結果の表示の記載	○ 調査結果についての保存・蓄積や電子化及びデータベース化の重要性の認識の周知。 ○ 地理空間情報としてGISの普及。 ○ データベースや地理空間情報を活用する手段として、水・物質循環解析ソフトウェア共通プラットフォーム(CommonMP)やCommonMP-GIS が整備。



今回改定	○ 河川砂防技術基準全編に共通する調査結果等の保存の基本的考え方を記載	○ 調査結果等が広く活用されるよう、適切に保存 ○ オープンデータ化の推進 ○ 品質を適切に確保 ○ 適切なバックアップ ○ 相互利用できるよう、機械判読に適したデータ構造・形式 ○ 地理空間情報化、3次元化
------	-------------------------------------	---

第23章 調査結果の保存・活用 改定概要―目次構成と改定箇所

調査編

第23章 調査結果の保存・活用

第1節 総説

1.1 目的

1.2 調査結果の保存

1.3 調査結果の品質確保

1.4 電子データのバックアップ

1.5 情報管理体制の構築

施設配置等計画編第5章で記載

1.6 共通仕様

1.7 調査結果の活用

施設配置等計画編第5章で記載

1.8 データベースの活用

施設配置等計画編第5章で記載

1.9 地理空間情報の活用

現行調査編

調査編

第23章 調査結果等の保存

第1節 総説

1.1 基本的考え方

・調査結果等が広く活用されるよう適切に保存・管理することの重要性について記載

1.2 調査結果等の保存

・オープンデータ化に向け、適切な方法で保存、蓄積
・継続して保存・蓄積

1.3 調査結果等の品質確保

・品質を適切に確保
・利用目的に沿ったデータの品質特性を設定することが重要
・データには誤りが含まれうる。合理的な範囲で修正することが重要

1.4 電子データのバックアップ

・システム障害等に備え、必要な方策を適切に講じる
・特に観測結果は適切なバックアップが重要

1.5 共通仕様

・機械判読に適した構造
・地理空間情報化、3次元化

調査編改定案

赤文字:新設
青文字:改定箇所

河川砂防技術基準 調査編改定

第23章 調査結果等の保存の
関連通知・参考資料等について

第23章 調査結果等の保存

No	掲載箇所	資料名	掲載URL	概要
第1節 1.1 基本的考え方				
1	関連通知等	オープンデータ基本指針	https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/f7fde41d-ffca-4b2a-9b25-94b8a701a037/20210615_resources_data_guideline_01.pdf	国、地方公共団体、事業者が公共データの公開及び活用に取り組む上での基本指針をまとめた資料
2	関連通知等	データマネジメント実践ガイドブック(導入編)	https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/890e5d96-d63c-4b77-bd3e-cc89487393e3/506478b8/20220810_policies_data_strategy_460_outline_06.docx	各府省庁においてデータマネジメントを実施するための準備段階(データマネジメント実施計画の策定等)の進め方について、プロセスごとに実施に当たってのポイントや実施手順を示した資料
3	参考となる資料	オープンデータ基本指針	https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/f7fde41d-ffca-4b2a-9b25-94b8a701a037/20210615_resources_data_guideline_01.pdf	再掲: No.1 参照
第1節 1.2 調査結果等の保存				
4	関連通知等	国土交通省デジタル・ガバメント中長期計画	https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12187388/www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/cio/siryou3/21kokudo/honbun.pdf	「デジタル・ガバメント実行計画」に掲げる取組を実施し、国土交通省におけるデジタル・ガバメントの実現を図るとともに、「① 必要なサービスが、時間と場所を問わず、最適な形で受けられる社会」「② 官民を問わず、データやサービスが有機的に連携し、新たなイノベーションを創発する社会」のような社会の実現に寄与することを目的とする資料
5	関連通知等	オープンデータをはじめよう～地方公共団体のための最初の手引書～	https://cio.go.jp/sites/default/files/uploads/documents/opendata_tebikisyo.pptx	地方公共団体におけるオープンデータの取組を促進するために、「地方公共団体オープンデータ推進ガイドライン」を補足する資料 これから具体的な取組を始めようとする自治体の担当職員を対象として、オープンデータについての考え方や取組の進め方をできるかぎり平易に解説

第23章 調査結果等の保存

No	掲載箇所	資料名	掲載URL	概要
第1節 1.3 調査結果等の品質確保				
6	関連通知等	データ品質管理ガイドブック	https://github.com/JDA-DM/GIF/blob/main/460_%E5%AE%9F%E8%B7%B5%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%96%E3%83%83%E3%82%AF/docx/468-1_%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF%E5%93%81%E8%B3%AA%E7%A%E1%E7%90%86%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%96%E3%83%83%E3%82%AF.docx	官民含めたデータオーナーが高品質のデータを提供できる実現できるよう、データ品質管理のフレームワークと評価モデルを示す
7	関連通知等	データ連携基盤を通して提供されるデータの品質管理ガイドブック	https://www.chisou.go.jp/tiiki/kokusentoc/supercity/supercity_230926_guidebook.html	データ連携基盤の整備主体、データ提供者、データ利用者が効率的、効果的にデータの品質管理を実施するために必要な役割分担や、データの品質評価の具体的手法に関する参考モデルを提示
8	参考となる資料	JIS X 25012 ソフトウェア製品の品質要求及び評価(SQuaRE)ーデータ品質モデル	https://webdesk.jsa.or.jp/preview/preview_jis_x_25012_000_000_2013_j_ed10_ch.pdf	コンピュータシステム内の構造化された様式で保有されたデータに対する、一般的なデータ品質モデルを規定。
第1節 1.4 電子データのバックアップ				
9	関連通知等	国土交通省デジタル・ガバメント中長期計画	https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12187388/www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/cio/siryou3/21kokudo/honbun.pdf	再掲:No.4参照

第23章 調査結果等の保存

No	掲載箇所	資料名	掲載URL	概要
第1節 1.5 共通仕様				
10	関連通知等	デジタル社会の実現に向けた重点計画	https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/5ecac8cc-50f1-4168-b989-2bcaabffe870/b24ac613/20230609_policies_priority_outline_05.pdf	我が国がデジタル化を強力に進めていく際に政府が迅速かつ重点的に実施すべき施策を明記したもの デジタル庁のみならず、各府省庁の取組も含め、工程表などスケジュールと合わせて明らかにするものであり、各府省庁がデジタル化のための構造改革や個別の施策に取り組み、また、それを世界に発信・提言する際の羅針盤
11	関連通知等	二次利用の促進のための府省のデータ公開に関する基本的考え方（ガイドライン）	https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/f7fde41d-ffca-4b2a-9b25-94b8a701a037/7c57e1a9/20220523_resources_data_guideline_01.pdf	各府省の保有するデータの公開に関する基本的考え方を整理したもの
12	関連通知等	国土交通省デジタル・ガバメント中長期計画	https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12187388/www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/cio/siryou3/21kokudo/honbun.pdf	再掲：No.4参照
13	参考となる資料	統計表における機械判読可能なデータ作成に関する表記方法	https://www.soumu.go.jp/main_content/000723626.pdf	府省がe-Statに登録する機械判読可能な統計表を作成する上で留意すべき事項について取りまとめ、統一ルールとして策定したもの
14	参考となる資料	政府相互運用性フレームワーク(GIF)コアデータパーツ	https://github.com/JDA-DM/GIF/tree/main/440_%E3%82%B3%E3%82%A2%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%83%91%E3%83%BC%E3%83%84	・GIFは政府情報システム・標準ガイドライン群の中で、標準ではなく各機関への情報提供に位置づけられる参照モデル ・コアデータパーツとして、日付や電話番号、住所など、様々なデータモデルで登場するデータ項目に関しての共通形式を定める。
15	参考となる資料	地理空間情報の二次利用促進に関するガイドライン	https://www.mlit.go.jp/common/000124117.pdf	行政機関等における地理情報の二次利用の概念を明確にするとともに、適正な権利処理のもと地理空間情報の提供・流通を行う際の指針を示す
16	参考となる資料	3次元モデル成果物作成要領(案)	https://www.mlit.go.jp/tec/content/001473006.pdf	工事における契約図書を従来どおり2次元図面とすることを前提として、詳細設計における3次元モデル成果物の作成方法及び要件を示したもの